

特別講演

7月11日(土) 11:00 ~ 12:00 (ライブセッション)

SL 先天異常から DOHaD へ: 鍵となる次世代継承エピジェネティクス

大隅 典子 東北大学 大学院医学系研究科 発生発達神経科学分野

教育シンポジウム1

7月12日(日) 13:00 ~ 15:00 (ライブセッション)

「新型コロナウイルスに対して有効性が期待される医薬品の催奇形性を考える」

座長: 林 昌洋 虎の門病院薬剤部

下村 和裕 第一三共株式会社 ワクチン研究所

ES1-1 妊娠中のファビピラビルの使用

○中島 研 横浜南共済病院 薬剤科
八鍬 奈穂 国立成育医療研究センター
村島 温子 国立成育医療研究センター
周産期・母性診療センター／妊娠と薬情報センター

ES1-2 抗 HIV 薬の催奇形性を臨床研究から考える

○梅澤 理恵子, 小西 久美, 本間 真人 筑波大学附属病院 薬剤部
濱田 洋実 筑波大学 医学医療系 産科婦人科学

ES1-3 COVID-19 に対するシクレソニドの効果と催奇形性

○柴崎 祥子, 刈込 博 聖路加国際病院 薬剤部
山中 美智子 聖路加国際病院 遺伝診療部／女性総合診療部

ES1-4 抗インフルエンザ薬、抗 HIV 薬、吸入ステロイド薬の非臨床試験成績

○山崎 華子 大鵬薬品工業株式会社 安全性研究所
下村 和裕 第一三共株式会社 ワクチン研究所

シンポジウム1

7月11日(土) 9:30 ~ 11:00 (ライブセッション)

「出生前検査と遺伝カウンセリング –過去～現状～未来に向けて–」

座長: 山中 美智子 聖路加国際病院 遺伝診療部／女性総合診療部

水野 誠司 愛知県医療療育総合センター小児内科／遺伝診療科

S1-1 日本での出生前検査の歴史と現状

山中 美智子 聖路加国際病院 遺伝診療部／女性総合診療部

S1-2 先天異常がある児の医療・療育における包括的支援 小児科医の立場から

吉橋 博史 東京都立小児総合医療センター 遺伝診療部 臨床遺伝科

S1-3 出生前検査と人工妊娠中絶 –法学者の立場から–

本田 まり 芝浦工業大学 工学部

S1-4 出生前検査と遺伝カウンセリング –社会・倫理的な視点から–

柘植 あづみ 明治学院大学 社会学部 社会学科

シンポジウム2

7月11日(土) 14:00 ~ 15:30 (ライブセッション)

日本先天異常学会 60周年企画

「医薬品による発生毒性被害の抑止に対する日本先天異常学会の貢献と未来」

座長: 山田 重人 京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学専攻／

附属先天異常標本解析センター

S2-1 医薬品の生殖発生毒性研究から見た先天異常学会の60年の歩み

塩田 浩平 京都大学

S2-2 医薬品の生殖発生毒性試験の進展への本学会の貢献

安田 峯生 広島大学

S2-3 医薬品の安全性研究を取り巻く変化と生殖発生毒性研究者の育成に関する先天異常学会への期待

堀本 政夫 千葉科学大学 危機管理学部

S2-4 医薬品の発生毒性評価における創薬研究者への期待

真木 一茂 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 毒性領域

「発生学と毒性学の先端的融合」

座長: 曾根 秀子 横浜薬科大学

井関 祥子 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 分子発生学分野

S3-1 頭蓋顎顔面形成のオーバービュー

井関 祥子 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 分子発生学分野

S3-2 レチノイン酸シグナルと顔面形成不全

○黒坂 寛, ウ ヤンラン, ワン チ

大阪大学大学院歯学研究科 顎顔面口腔矯正学教室

菊地 正隆 大阪大学・大学院医学系研究科・ゲノム情報学共同研究講座

中谷 明弘 大阪大学・大学院医学系研究科・ゲノム情報学共同研究講座,

東京大学・新領域創成科学研究科・生命科学研究系

メディカル情報生命専攻・ゲノムデータサイエンス解析講座

山城 隆 大阪大学大学院歯学研究科 顎顔面口腔矯正学教室

S3-3 顔面形成における増殖因子と環境因子の協調作用

○三品 裕司, 楊 静文 ミシガン大学 歯学部 生命材料学科

S3-4 口蓋裂発生メカニズムの解明 –口蓋突起癒合後の口蓋裂発生について–

○井村 英人, 夏目 長門 愛知学院大学 歯学部 口腔先天異常学研究室,

愛知学院大学歯学部附属病院口唇口蓋裂センター

シンポジウム4

7月12日(日) 9:00 ~ 10:30 (ライブセッション)

日本製薬工業協会後援シンポジウム

「改定された ICH S5(R3) 医薬品の生殖発生毒性ガイドラインの要点を規制側の視点で読み解く」

座長：西沢 紫乃 帝人ファーマ株式会社 生物医学総合研究所

真木 一茂 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 毒性領域

S4-1 医薬品生殖発生毒性ガイドライン改定の経緯と要点

真木 一茂 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 毒性領域

S4-2 胚・胎児発生毒性試験における胎児毒性と安全域の考え方

関澤 信一 東京大学大学院 農学生命科学研究科 獣医学専攻

S4-3 高用量設定根拠とそれらのプライオリティー

三ヶ島 史人 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構

S4-4 ICH S5 における発生毒性代替法の考え方

小島 肇 国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験センター
動物実験代替法評価センター (JaCVAM)

「発生毒性、遺伝毒性を有する医薬品の臨床使用における避妊に関する情報提供のあり方」

座長:鈴木 直 聖マリアンナ医科大学 産婦人科学

藤原 道夫 アステラス製薬株式会社 安全性研究所

S5-1 医薬品の生殖毒性に関するFDAの推奨ガイダンス

鈴木 直 聖マリアンナ医科大学 産婦人科学

S5-2 非臨床安全性試験(生殖発生毒性)

小野寺 博志 国立医薬品食品衛生研究所 病理部

S5-3 医薬品の避妊に関わる臨床情報の国際比較

○米村 雅人 国立がん研究センター東病院 薬剤部

元永 伸也, 藤城 法子 国立がん研究センター東病院

臨床研究支援部門 安全管理室

S5-4 卵子・胚・胎児への毒性と女性患者への対応

○高井 泰 埼玉医科大学 総合医療センター 産婦人科

中村 永信 埼玉医科大学 総合医療センター

総合周産期母子医療センター

S5-5 精子・精巣への毒性と男性患者への対応

西山 博之 筑波大学 医学医療系 腎泌尿器外科

S5-6 医薬品の次世代に及ぼす影響とPMDAにおける承認審査及び安全対策上の課題

井口 豊崇 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構

「胎仔骨格異常の検出へのマイクロCT活用事例からみる利点と課題」

座長:井関 祥子 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 分子発生学分野

青木 嘉信 アステラス製薬株式会社 安全性研究所

S6-1 μ CT を活用した疾患モデルマウスの頭部形態の解析例

○武智 正樹 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科
分子発生学分野

山田 隆彦 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科
顎顔面外科学／分子発生学分野

星野 裕紀子 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 新薬審査第五部,
東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科
分子発生学分野

竹内 理華 東京慈恵会医科大学 解剖学講座, 東京医科歯科大学
大学院医歯学総合研究科 分子発生学分野

井関 祥子 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科
分子発生学分野

S6-2 生殖発生毒性試験への micro-CT 導入の可能性

桑形 麻樹子 国立医薬品食品衛生研究所
安全性生物試験研究センター 毒性部

S6-3 胎児骨格検査における X 線マイクロCT の有用性と課題

伊原 良 住友化学株式会社 生物環境科学研究所

S6-4 ラット胎児 CT 画像を用いた人工知能による骨格自動診断の可能性

○坂井 祐子, 藤原道夫, 青木嘉信 アステラス製薬株式会社 安全性研究所

ワークショップ

7月12日(日) 16:30 ~ 18:00 (ライブセッション)

DevTox ベルリンワークショップ/JTS 用語委員会、合同ワークショップ

「実験動物の発生異常用語におけるベルリンワークショップと JTS の交流と最近の活動」

座長: 桑形 麻樹子 国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験センター 毒性部
千原 和弘 大日本住友製薬株式会社 前臨床研究ユニット

W-1 Gray zone のとらえ方の産業による違い

桑形 麻樹子 国立医薬品食品衛生研究所
安全性生物試験研究センター 毒性部

W-2 The activities for harmonization of developmental toxicity terms at Berlin Workshops and current situation/prospect of the grey zone reduction activities

Jochen Buschmann Consultant in General and Reproductive Toxicology

W-3 日本先天異常学会における Gray zone 所見削減活動の総括と今後

佐藤 旭 一般財団法人残留農薬研究所

W-4 Gray zone 用語の削減活動の経緯と現況

和泉 祐子 武田薬品工業株式会社 リサーチ 薬剤安全性研究所

奨励賞受賞講演

7月11日(土) 13:00 ~ 13:30 (ライブセッション)

AL-1 形態解析から迫るヒト胎児顔面骨格の形態形成と先天異常疾患

勝部 元紀 京都大学 大学院 医学研究科 形成外科学

AL-2 ヒト胚発生過程における尾部退縮過程の解明

東島 沙弥佳 大阪市立大学大学院 医学研究科 器官構築形態学

教育講演1

7月11日(土)～8月10日(月)(オンデマンドセッション)

座長:小崎健次郎 慶応義塾大学 医学部 臨床遺伝学センター

- EL1 ヒト疾患モデルとしてのノックアウトマウスの疾患表現型のオントロジー用語
吉木 淳 理化学研究所 バイオリソース研究センター

教育講演2

7月11日(土)～8月10日(月)(オンデマンドセッション)

- EL2 先天異常の発症メカニズムを探る ―生殖器研究からのアプローチ―
鈴木 堅太郎 和歌山県立医科大学 先端医学研究所

教育シンポジウム2

7月11日(土)～8月10日(月)(オンデマンドセッション)

第20回生殖発生発達教育セミナー

- オーガナイザー:則武 健一 株式会社サンプラネット 筑波研開支援事業部 安全性研究ユニット
河村 佳徳 バイエル薬品株式会社 前臨床開発
片桐 龍一 中外製薬株式会社 トランスレーショナルリサーチ本部

ES2-1 心血管系の発生

八代 健太 京都府立医科大学 大学院医学研究科 生体機能形態科学部門

ES2-2 薬物の胎盤透過を規定するメカニズムとその影響

○登美 齊俊, 野口 幸希, 西村 友宏 慶應義塾大学 薬学部 薬剤学講座

ES2-3 妊娠中のウイルス感染と先天異常 ―基礎―

河崎 秀陽 浜松医科大学 光先端医学教育センター ナノスーツ開発研究部

ES2-4 妊娠中のウイルス感染と先天異常 ―臨床(風疹を中心として)―

奥田 美加 独立行政法人国立病院機構横浜医療センター 産婦人科